

前号では歯周病と全身疾患の関係をお伝えしました。  
歯周病菌は主に血液を介して全身に悪影響を巡らします。  
歯周病巣から産出した炎症物質や内毒素が血液に入り込む  
ことによって、さまざまな全身疾患を引き起こすのです。



## そもその歯なし

### 第8回 歯周病と妊娠予後

#### 妊娠中の歯周病菌の感染が早産を引き起こす？

歯周病の妊婦さんはそうでない妊婦さんより7倍も早産になりやすいという研究結果があります。早産の原因のひとつに膈からの細菌感染による炎症や刺激があります。  
1990年代になると、歯周病菌もこのような早産を引き起こす可能性があるのではないか、だから歯周病にかかっている妊婦は早産になりやすいのではないか、ということが言われはじめました。なぜなら、低体重児早産の妊婦の羊水や胎盤から歯周病菌が検出されることがあるからです。



#### 妊娠する前から歯周治療を！

これから妊娠を望む女性の方は、歯周病の疑いがないか、歯垢や歯石はたまっていないかなどの歯周検査を歯科医院で受け、必要な治療やクリーニング、ブラッシング指導を受けることを強くオススメします！

#### 赤ちゃんのむし歯菌はお母さんから伝わる

元来、赤ちゃんのお口の中には存在しないむし歯菌ですが、奥歯が生える1歳6ヵ月頃にまわりの大人の唾液を通して感染します。世界的に見て、むし歯菌は母親からの唾液感染がとても多いのです。赤ちゃんの歯をむし歯から守るためにも、きちんと歯磨きをし、歯科医院で定期的にクリーニングを受け、お口の中を清潔に保ちましょう！

#### 歯周病検査とは・・・？

##### レントゲン検査

歯を支えている骨の状態を確認します



##### 歯周ポケット検査

専用の器具（プローブ）を使い、歯周ポケットの深さを測ります。同時に、歯肉の健康状態も確認します。その他、歯に動揺がないか、歯垢や歯石の付着具合を確認します。中程度から重度の場合、さらに詳しい検査をします。



プローブ



プロービング  
(歯周ポケット検査)



歯周病はもはや口の中だけの問題ではありません。歯周病菌が全身的炎症の原因となる他にも、歯が揺らいで噛めなくなることで自体も全身に悪影響を及ぼします。お口の健康を保つということは全身の健康に確実に繋がっています。歯周治療をおろそかにしてはいけません。痛みなどの自覚症状が少ないため、放置してしまいがちですが、歯周病は治療をすれば改善する病気です。定期的にメンテナンスを受けて、お口の健康と全身の健康を守りましょう。

**フレッシュ歯科**  
院長 田中慎亮



TEL087-814-4181  
高松市林町1183番  
新鮮市場さむら林店敷地内